

南日本グループ 手厚い福利 厚生を導入

【東京】南日本運輸倉庫(大園圭一郎社長、中野区)を核とする南日本グループは、東証一部に上場するベネフィット・ワンが提供する福利厚生サービス「ベネフィット・ステーション」を導入し、1日から利用を開始した。これは140万種類以上の優待・割引サービスを提供するもので、南日本グループの企業(南日本運輸倉庫、

関東デイリー、アデッキ物流、東京白動車)で雇用保険に加入し、入社6か月以上経過している全従業員が利用可能。利用対象者にはID等が入った会員証が支給され、従業員本人と2親等以内の親族も会員特典を受けられるという手厚いもの。さらに同グループの利用対象者

には会員専用サイトにログインするだけで5000円分の会員限定の専用ポイントが付与されるという特典付き。

このほか、各種スポーツやイベントの会場として知られる「埼玉スタジアム2002」のメインスタンド側、VIP席真上に、広告看板を設置したことを7月31日に発表した。



同社では「一生懸命に頑張ってくれている従業員の皆さんに、少しでも楽しく、気持ちよく、そして誇りを持って働いていただける職場環境を目指していきたい」と話す。(小澤 裕)